



平成30年4月27日
沖縄電力株式会社

平成29年度決算について

1. 販売の状況

平成29年度の販売電力量は、電灯については、夏場を除き気温が前年度に比べ低めに推移したことによる需要減があったものの、お客さま数が増加したことによる需要増により、前年度を上回りました。電力については、夏場を除き気温が前年度に比べ低めに推移したことや、他事業者への契約切り替えによる需要減などにより、前年度を下回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年度に比べ0.7%減の77億61百万kWhとなりました。

2. 収支の状況

平成29年度の収支の状況について、収入面では、電気事業において、販売電力量の減少があったものの、燃料費調整制度の影響により、売上高（営業収益）は前年度に比べ161億36百万円増（9.0%増）の1,961億34百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、減価償却費が減少したものの、燃料費や他社購入電力料が増加したことから、営業費用は前年度に比べ159億30百万円増（9.3%増）の1,868億1百万円となりました。

この結果、営業利益は前年度に比べ2億6百万円増（2.3%増）の93億33百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は8億59百万円増（11.4%増）の83億81百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は7億56百万円増（13.7%増）の62億73百万円となりました。

なお、当社は、平成29年6月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。当期の期末配当金については、1株につき30円を株主総会にお諮りし、中間配当金とあわせて1株につき年間60円を予定しています。

3. 平成30年度の業績見通し

平成30年度の電力需要は、前年度に比べ2.7%減の75億50百万kWhを見込んでいます。

収入面については、電気事業において、販売電力量の減少が見込まれるものの、燃料費調整制度の影響による電灯電力料の増加が見込まれることや、連結子会社において、外部向け売上高の増加が見込まれることから、売上高は前年度に比べ増加する見通しです。

一方、支出面については、電気事業において、燃料費や他社購入電力料の増加などが見込まれることや、連結子会社において、売上原価の増加が見込まれることから、営業費用は前年度に比べ増加する見通しです。

このような状況から、平成30年度の業績については、売上高は2,030億円、営業利益は78億円、経常利益は67億円、親会社株主に帰属する当期純利益は51億円を見込んでいます。

別紙：決算の概要

以上

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 (実績)	増減	増減率
電 灯	3,115	3,140	+25	+0.8%
電 力	4,698	4,621	△77	△1.6%
合 計	7,813	7,761	△52	△0.7%

■連結経営成績 (3年ぶりの増収増益)

(単位：百万円)

	平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	179,997	196,134	+16,136	+9.0%
営 業 利 益	9,126	9,333	+206	+2.3%
経 常 利 益	7,521	8,381	+859	+11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,517	6,273	+756	+13.7%

■販売電力量見通し

(単位：百万 kWh)

	平成 29 年度 (実績)	平成 30 年度 (見通し)	増減	増減率
電 灯	3,140	3,045	△95	△3.0%
電 力	4,621	4,505	△116	△2.5%
合 計	7,761	7,550	△211	△2.7%

■連結業績見通し (6年ぶりの増収減益の見込み)

(単位：百万円)

	平成 29 年度 (実績)	平成 30 年度 (見通し)	増減	増減率
売 上 高	196,134	203,000	+6,865	+3.5%
営 業 利 益	9,333	7,800	△1,533	△16.4%
経 常 利 益	8,381	6,700	△1,681	△20.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,273	5,100	△1,173	△18.7%